

Scout Voice ISHIKAWA スカウトボイス石川

Vol.2

発行：ボーイスカウト石川県連盟
石川県金沢市平和町 1-3-1
石川県平和町庁舎内
発行責任者：野田 政弘
編集責任者：宮東 剛文
平成 27 年 10 月 30 日発行

Scout Voice

カブスカウトの好きなところ

金沢第 1 団カブ隊 久田 綾乃

私のカブスカウトの好きなところは、みんながなかよしなところです。

わけは男女なかよく、たのしく、活動をしてけんかをして、そのぶんなかよくなって、なったあとにへんなことをして、隊長をこもらせたりしてるけど、私はこのカブスカウト一つ一つの活動が大好きです。

電話れんらくではほとんどまちがわないし、さいしょ、はじめてのときは、「だいじょうぶかな。」と思ったけど、今では、まったく昔とかわって、おどろくほどにすごくなっていました。

なので今の私のカブスカウトがあると思いました。



(活動中は組をまとめるしっかりものの組長です)

うどんの奉仕作業をしてわかったこと

小松第 3 団ボーイ隊 北村恵一

僕は、5 月 30 日の全国大会のときにあった小松うどんの無料配布の手伝いをしました。

僕は、油揚げをのせたり、うどんの出前に行ったりしました。この無料配布は、小松のボーイスカウトの隊員と保護者の人が中心にやっていました。その日の 15 時ごろ、駅をはさみ反対側にあるブースの会場へ出前に行くことになりました。一往復では足りず、三往復することになりました。一回目は指導者の人と二回目、三回目はベンチャー隊の人と行きました。うどんはとても重く、大変でしたが、ブースの人たちがうどんをおいしそうに食べていたので、とてもうれしかったです。

今回の奉仕作業を終えてわかったことは、「奉仕作業は大変だけど、達成感があり楽しい。」ということです。その日の無料配布場では笑顔が絶えませんでした。またこのような奉仕作業の機会が今後あるとしたら、進んでやっていこうと思います。



(名物「小松うどん」を提供するスカウトたち)

全国大会に参加して

金沢第 17 団 宮崎正太郎

ボーイスカウト全国大会で色々なイベントに参加しました。キーホルダーの作製、うちわの作製などの色々なイベントに参加しましたが、特に印象的だったのは、シルバーコンパスを使ってスタート地点にもどるというゲームでした。

シルバーコンパスの使い方を知らない人でも、担当のリーダーの方が詳しく説明してくださり、ゲームをしている間に、シルバーコンパスの使い方を体で覚えることができたし、今回のイベントで一番楽しいイベントでした。

楽しいだけでなく、ためになるイベントが他にも盛りだくさんでした。次は追跡サインや手旗を使ったゲームも取り入れてほしいと思いました。そして次回も参加したいと思いました。

23WSJ 感想文・石川 2 隊

第 1 班 金沢 6 道端 涼介 Michi

前回の日本ジャンボリーに続き 2 回目のジャンボリー参加でした。世界ジャンボリーは規模が全く異なり驚きました、まだ中学 2 年生で 2 週間のキャンプ生活は大変でしたが、期間中、隊の人たちや外国の人たちと仲良くなれたことが嬉しかったです。自隊のロシアの皆さんとは、自分が英語があまり話すことができないこともあり、ちょっとしたことでしか話せませんでした。

もっと自分から積極的になっていればよかったなと思いました。ジャンボリーでは初めて経験することがたくさんありました。その中でも 1 番印象に残っているのは外国スカウトとの交流でした。今からもっと英語を勉強して、将来いろいろな話題について話し合いたいと思いました。

第 2 班 金沢 17 田中 駿佑 Sho

23wsj に行く前は外国のスカウトたちと上手く会話できるか心配でした。でも、実際に話してみると相手が言っていることさえ分かればジェスチャーで自分の思っていることを伝えることができました。だから、「WSJ に行きたい!」と、思っている人はリスニングをがんばろう!

それに、23wsj には美人の外国のスカウトやイケメンがたくさんいるので、「FREE HUGS」と書いたダンボールを持って積極的に話しかけに行きましょう。フリーハグは美人やイケメンとハ

グできるだけでなく、相手の元気を少し分けてもらえるので、元気がない時こそフリーハグに行きましょう!

23wsj で 1 番興奮したのはアリーナショーです。2 年前の 16nj のときは地方のアイドルグループとブルーインパルスが出てきていましたが、23wsj では歌手の中川翔子や、DANCE EARTH PARTY や、すごい和太鼓のグループや、ピカチュウなど日本で有名なゲストが出てくれました。僕は EXILE が大好きなので DANCE EARTH PARTY が出てきたときにテンションが上がりました。

O511 隊はみんな個性的なメンバーだったので、とても楽しかったです。願わくはまたみんなでジャンボリーに行きたいです。

第 3 班 川北 1 本野 夏希 Natsuki
16NJ に比べて期間が長かったけど、毎日がとても楽しく、あっとゆうまの 2 週間でした。

班編成が多かったけど、そのおかげでみんなと仲良くなることもできました。

外国人とコミュニケーションを取るときに言語が英語じゃない国の人らの英語能力が、私たちとあまり変わらなかったのが簡単な単語が多く、しゃべりやすかったです。

初めての世界ジャンボリーだったけどとても楽しかったし、とても良い経験ができました。

第 4 班 加賀 3 小橋 直 Nao
私は 15NJ・16NJ と、過去に二度ジャンボリーに参加し、今回は初の世界ジャンボリーとなりましたが、ロシアスカウトや静岡の二人ともすぐに打ち解けられ、期間全体を楽しめたと思います。8 月 4 日にお腹を壊し入院しましたが、割と早くに退院、復帰できて、隊に戻った時に皆が暖かく迎えてくれたのは、この隊でよかったと強く思わせる瞬間でした。その後のプログラムも順調だったので、寧ろ良い経験になったと思います。最後にロシア語を交えて、O511 隊は、本当に“ハラショー”な隊でした。



Leaders Voice

石川県連盟理事長 野田 政弘

県連盟が一般向けにボーイスカウト運動を PR するために、体験会を開催した折に、来場された方から、まだ県内にボーイスカウトがあったのですかと、問いかけられたそうです。その報告を受けて大変ショックを受けました。昭和50年代から60年頃は、加盟員も4,000名に届く程の勢いで、色んな活動で県民の方々にもボーイスカウトが認識されていたと思いますが、今の状況はどうでしょうか。加盟員の数も、その当時の1/3程度まで減少しています。この減少の原因を悉くに「少子化」と結論付けていませんか。

ボーイスカウト日本連盟理事長の奥島孝康先生は、「財界」と言う雑誌に次のように述べておられます。スカウトの減少の第一に経験豊かな指導者不足とその高齢化と、第2として子供達が「外遊び」をしなくなったと同様に、スカウト活動も「室内化」してきた。その結果、第3に、スカウト達の活発で楽しそうな活動が社会から見えなくなってきたと、この様に述べておられます。

まさしくご指摘の通りだと思います。確かに、現場で一生懸命に指導されている指導者の顔ぶれがそんなに変わっていないことから伺える。そのために、活動が小さくなっているようにも思える。私達の活動は、野外を教場とし、ワイドな活動を展開するところに、スカウト達の心をくすぐる「ワクワク・ドキドキ」するプログラムの展開がなされ、活発で楽しい活動があるのでは。今一度、本来のスカウティングとは何かを確認することも大事ではないだろうか。そこで確認の為に、「スカウティング・ファー・ボーイズ」を開いて見ては。この書はベーデンパウエルが著したボーイスカウト運動のバイブルです。行き詰ったら、また開いて読み返して下さい。ヒントはそこに有るかも知れません。

そして、指導者の皆さん、もっと子供達の為に、汗を流しましょう。その後姿にスカウト達は共感し、スカウト活動に喜んで参加するのではないのでしょうか。締めくくりとしまして、スカウティングは、「行うことによって学ぶ」即ち「自発性を促す」ことです。このことを指導者は肝に銘じて、活動を展開してください。

Supporters Voice

ホストファミリー体験

県連盟広報委員長 宮東剛文

今年の夏、我が家にも、UK スカウト 2 名（16 歳女子）がやってきました。12 時間の長旅、初めての国、初めての人々とのご対面と初めてづくしのご両人でありました。本人たちの緊張感は相当なものだと思われ、初めてのあいさつでは、英語ながらに声が震えているのがわかりました。対する私は、青い目の女子高校生を前に、案の定、言葉が出てこず、何ともお恥ずかしい限りでありました。3ヶ月前より通勤の車の中で聞いていた英会話 CD は功を奏さず不発に終わりました。幸い、今春より娘が某大学の外国語学部に入学し、今回のホームステイを機に一時帰宅しておりましたので、うまくコミュニケーションをとることができました。

2 日目は、定番の金沢市街地観光。兼六園にて、初めての「かき氷」に挑戦。皆、口の中が、赤、緑、青に色が変わって大騒ぎ。お互いに写真をパチパチ撮って喜んでくれました。この日はあいにく気温 35℃超えの猛暑であったため、早めに切り上げ帰宅しました。夜は「Google Earth」で彼女たちのお宅を拝見。レンガ作りの家の前にはベンツが停車、どうやら相当なお姫様の予感。確か、趣味は乗馬にバレエだとか。持参した写真には煌びやかなパーティドレス姿が写っていました。IT 技術の進歩により世界が益々小さくなったことを実感するひと時となりました。

たった2泊3日のホストファミリー体験ではありましたが、日本人として大切にしたい心を見いだすことができました。一昨年、“お・も・て・な・し”という言葉が流行りましたが、何を見せたら、何をご馳走したら、彼女たちを喜ばすことができるかを家族みんなで考えました。おそらくホームステイを受け入れた方々は皆同じような気持ちでいたことと思います。お別れの後には、花火を体験させたかった、浴衣を着てもらいたかった、お寿司を食べさせたかった、千里浜に連れていきたくった、温泉に連れて行きたかったなどなど数々の心残りがありました。このような国際交流を通して、世界中の人々が、「日本って本当にいい人たちの集まりなんだよね」って思ってもらえるようになればいいですよね。



(舌と唇が染まって大騒ぎのUK スカウト)

B-P Voice

キャンプの怠け者

キャンプ場は広いところだ。
しかし、一人だけそこに置けない者がいる。それは、こまごまとしたいろいろな仕事を分担してしなければならないのに、それをしようとしないう者のことだ。キャンプ場には仕事を怠ける者、文句ばかり言う者を置く場所はない。
ボーイスカウトのどこにも、そのような場所はないのだが、特にキャンプにはない。
みんなが助け合い、みんなが気持ちよくキャンプができるように、こころよく助け合わなければならない。
こうして友情が育っていくのだ。
(スカウティング・フォー・ボーイズ 第三章キャンプ生活より)



スカウトボイス原稿募集

ボーイスカウト石川県連盟では、機関誌「スカウトボイス石川」に掲載する記事を広く募集しています。スカウトからの活動報告、23WSJ 参加スカウトからの感想文、ホームステイ受け入れ家族やスカウトからの報告、リーダーからスカウトに向けた熱いメッセージ、などお願いいたします。投稿者の顔写真、活動の写真などスカウトボイスや県連ホームページに掲載可能な写真も併せて募集しています。

以下の BS 石川県連 HP「写真・スカウトボイス投稿フォーム」より、原稿を添付し、情報掲載の同意確認を行ったうえで、送信してください。なお、年少スカウトからの記事を提供していただく場合、手書きの原稿を郵送にて県連盟までお送りいただいても結構です。次回発行予定は 1 月です。皆様、奮ってご応募ください。
<http://scout-ishikawa.jp/member-info/>

写真コンテスト投稿募集

スカウト、リーダーの撮った写真の投稿を募集しています。テーマは『スカウト活動』です。『スカウト活動』に関する写真であればどんなものでも結構です。ビーバー・カブ部門、ボーイ・ベンチャー部門、ローバー・リーダー部門に分けて厳正な審査を行い、スカウトボイス 3 月号で誌上表彰いたします。CS チャレンジ章科目「写真博士」（写真コンテストに応募する）にも対応できます。
以下の BS 石川県連 HP「写真・スカウトボイス投稿フォーム」より、写真を添付し、情報掲載の同意確認を行ったうえで、送信してください。写真のタイトル、コメントや解説（撮影時のエピソードなど）も併せて入力してください。
<http://scout-ishikawa.jp/member-info/>

「スカウト川柳」募集

ボーイスカウトにありがちな一場面を川柳にしたためてみませんか。ボーイスカウトなら誰でもうなずく味わい深い川柳を広く募集しています。優秀作にはスカウトボイス 3 月号で誌上表彰いたします。以下の BS 石川県連 HP より、情報掲載の同意確認を行ったうえで、川柳をメールしてください。
<http://scout-ishikawa.jp/member-info/>

